



平成29年6月29日

各 位

上場会社名 津田駒工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 高納 伸宏
 (コード番号 6217)
 問合せ先責任者 取締役管理部門統括総務部長 松任 宏幸
 (TEL 076-242-1110)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年4月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年11月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年12月1日～平成29年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,500	150	100	50	0.78
今回修正予想(B)	17,500	40	△40	△80	—
増減額(B-A)	△1,000	△110	△140	△130	
増減率(%)	△5.4	△73.3	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年11月期第2四半期)	20,236	497	389	305	4.79

平成29年11月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年12月1日～平成29年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,000	250	250	200	3.13
今回修正予想(B)	16,500	70	△100	△110	—
増減額(B-A)	△500	△180	△350	△310	
増減率(%)	△2.9	△72.0	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年11月期第2四半期)	19,106	520	447	392	6.14

修正の理由

(連結)

繊維機械事業でインドの高額紙幣廃止政策に伴う銀行業務の混乱から、当社の決済に必要なL/C(信用状)の発行業務が停滞しましたことから、第1四半期(12月-2月)の生産・売上は低水準にとどまりました。第2四半期(3月-5月)には、正常化し、生産・売上・利益ともに順調に推移しております。また、工作機械関連事業は、自動車業界向けを中心に堅調に推移いたしました。

しかしながら、第1四半期の繊維機械事業の落ち込みをカバーするに至らず、平成29年11月期第2四半期(累計)の業績予想につきましては、売上高17,500百万円、営業利益40百万円、経常損失40百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失80百万円と、当初予想を下回る見込みであります。

一方、受注面においては、繊維機械事業・工作機械関連事業ともに当初見込みを上回って推移しており、引き続き第3四半期以降の生産・売上に寄与するものと考えております。

(個別)

業況につきましては上記の通りであり、売上高は16,500百万円、営業利益は70百万円となる見込みであります。

また、海外連結子会社に対する債権等において、為替の変動による評価損等の発生もあり、経常損失は100百万円、四半期純損失は110百万円となる見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、7月12日に予定しております平成29年11月期第2四半期決算発表において改めて公表する予定です。

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上